

ひだまり

目次

散歩道	1
さくら千手園 千手園日記	2
木の宮学園 木の宮日記	3
山 桜 一泊旅行 in 福島	4
地域生活支援センター レインボー レインボー企画	4
南部よもぎの園 フライングディスク大会	5
佐倉市さくらんぼ園 ファミリーレクリエーション	6
さくら福寿苑 納涼会を終えて	7
敬老会	7
千手会フェスタ	8・9
情報フラッシュ	10



散歩道

人との出会いは偶然なのか、必然なのか、普段考えることはありませんか。そして日々の生活の中で沢山の人の出会いを大切にしていますか。

おそらく、人と出会うことは必然で意味のある大切な縁。

縁あって社会福祉法人千手会を通じて出会った利用者、職員その他多くの方々との出会いがネットワークとなり繋がりが生まれました。その繋がりが、行事や日常のボランティアなど沢山の方々に協力いただいています。

そして、この繋がりが増えれば増えるほど、心の中にある宝箱が満ちていくように、皆が成長しています。

流れが、アニメのワン●●●のようになってしまいました。が、これからも笑顔一杯で沢山の仲間にも囲まれたONE・T.E.A Mな職場であり続けます。

結びに、「笑う門には福来たる」人の輪が和になり、笑顔が生まれる。そしてまた新たな出会いが待っています。ワクワクしますね。



指定障害者支援施設(生活介護・施設入所支援)

さくら千手園

総合防災訓練

残暑の残る9月6日、千手会では一日を通じた総合防災訓練を実施しました。午前中は志津消防署、志津南出張所の方々に協力いただき、AEDを活用した普通救命講習を行い、要救助者を発見してからの一連の流れを実際に各々が体験しました。現場のみならず、日常生活においても必要となる訓練内容の為、皆それぞれに意識を持って真剣に取り組んでいました。

午後からは東日本大震災で被災した、ナザレの家あさひの荒井隆一氏による「東日本大震災時の状況及びその後の対応」というテーマで、防災講話を行いました。当時の写真を見ながら状況を聞き、自分達にも同じ状況が起こり得た事に、震災から数年経った現在においても身の引き締まる思いを感じ、改めて災害に対して日頃から備える重要性を学びました。



夜間には、志津消防署を始め、地元の消防団の方々のご協力を得て、夜間帯の利用者実避難の避難訓練を行いました。ここ数年で利用者の状況も変わり、椅子や付き添いを要する方が増えた中で、早さよりも安全性や確実性を重視して行いました。訓練に参加していただいた関係機関の皆様にも、感謝申し上げます。
(永瀬)

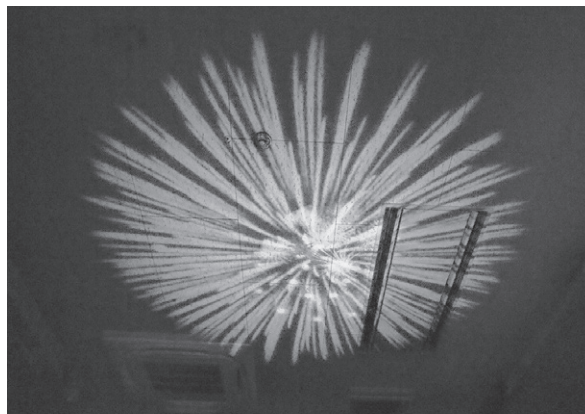
千手園日記



8月30日にやまびこ会主催行事を行いました。今年度の行事は8月という事もあり、縁日をイメージして行いました。昼の部・夜の部で分け、色々なイベントを堪能しました。昼の部では縁日の屋台をイメージし、ヨーヨー釣り、輪投げ、くじ引きコーナーを各フロアに設置。皆さん各イベントをとっても楽しんでおり、中でもくじ引きは大人気！景品を求めてあつという間にくじ引きコーナーは大混雑。景品を受け取ると、満面の笑みを浮かべて喜んでくれる方がいっぱいでした。その後、かき氷を食べて昼の部は終了です。

やまびこ会主催行事

縁日



夜の部では、夕食をやまびこ会の希望で屋台のメニューをイメージし、焼きそば、フランクフルト、たこ焼きを食べた後、最後はいよいよ花火大会です。プロジェクションマッピング形式で真っ暗な食堂内で天井に花火の映像を打ち上げました。花火の音や映像に見入り、皆さん夏の終わりの雰囲気を感じていました。これでやまびこ会主催行事と共に夏も終わりです。
(松戸)

指定生活介護事業所

木の宮学園

夏祭り

毎年恒例となった木の宮学園夏祭り!

今年利用者皆で作って、皆で楽しみたいとの事で、自治会「ひまわり会」が中心となり、企画の段階から参加し、話し合いを重ねての実施となりました。ゲームで使う道具を手作りしたり、当日、各ブースで他の利用者をおもてなししたりと大忙し。メンバー皆が楽しいゲームになるようにセッティングしました。

毎日暑いし、何か涼しくなるようなお水を使ったゲームはないかな?ということでお水を入れた水槽にコインを落としたり、定番のヨーヨー釣りも忘れずに、その他、今年の一歩の目玉として、ゲームセンターでもお馴染みのワニワニパニックです。しかも手作りの手動です。今回はひまわり会主催なので、各ゲームブースもひまわり会のメンバーが参加しての実施です。夏祭りのチケットを持って、「最初はどこ行く?」「どんなゲームだろうね」などなど、



ゲームを楽しみました。熱い戦いが終われば、その後は、冷たいアイスで一休憩。

昼食もひまわり会からの希望メニューを中心に焼きそばやお好み焼き等、お祭り気分を味わいました。

午後からはお待ちかねの抽選会です。今回は幸せのおすそ分けリレーです。一人一人の顔写真を順番に選んで次の方へと続けていきます。最後は職員も一緒に大じゃんけん大会です。たくさんさんの思い出と可愛いお土産持って、夏の楽しい一日になりました。

(内藤)

木の宮日記

夢の中へ

天候に恵まれた中、二時間程のドライブを経て匝瑳市にある「ビーチステーション&カフェ」に到着!バーベキュー場はお客さんが少なく貸し切り状態でのんびりとしたバーベキューを楽しみました。メインはもちろん肉ですが、ソーセージ、焼きそば、野菜もあつという間に皆の胃袋の中へ。各々がたつぷりと肉を食して大満足!帰路に着く途中に「道の駅多古あじさい館」に立ち寄りしました。のんびりと散歩し、お腹がいっぱいのはずなのに別腹のおやつソフトクリームをペロリと食べ、お土産を買って充実した一日を過ごしました。帰りは皆うとうと、のんびりとした車中の人となりました。

(中野)

ムーミンバレーパーク

台風が近づいていた10月11日、ちよつと遠い埼玉まで行ってきました。晴れ男晴れ女のパワーで何とか雨もなくスムーズに到着。早々にムーミンワールドを体感。その後、リトルミッドのアトラクションとムーミンパークのアトラクションをクリアしたところで小雨が…。昼食に入ったレストランでは、何とムーミンママとスニフが居て、一緒に写真を撮ってもらい、テーションマックス。ママにハグしてもらい、皆一緒に記念撮影をしてお別れしました。始めはどんなところだろうと不安気味の利用者も、すっかり帰る頃には、ムーミン谷の仲間になってしまいました。もう少しゆっくりしたかったなあ。

(藤井)



指定共同生活援助事業所



山桜1泊旅行

in 福島



11月10日～11日に、福島県へ1泊旅行に出掛けました。旅行の企画は、毎回利用者の皆さんが考えて複数のキーワードを出し、職員がそれを具現化していきます。何度も試行錯誤を重ねていきますが、必ず要望で上げられるのが「思い出に残る体験」なのです。何回もの話し合いの結果、今年は大内宿での福島県の民芸品赤べこの絵付け体験に

決定され、いよいよその時を迎えたのです。

「ちよつと！あれ見てよ。」

「えっ！」

「わっ！」

「あ・・・青いね！」

「赤べこって赤いよね。」

「でも、青も良いよね。」

「僕は、ちゃんと塗ったよ。」

「おー、上手だね。」

絵付けを始める前までは、上手く塗れるか心配そうな様子でしたが、見本通りに忠実に塗る方、不器用ながらも熱心に塗る方、常識に捉われず独創的に塗る方。終わってみれば1人1人の個性が思う存分発揮されていました。どの赤べこも、世界に1つだけの物となったその喜びは、格別なものとなりました。



(金川)

指定相談支援事業所



レインボー企画

ブルーベリー狩り



8月4日、毎年恒例のブルーベリー狩りに行ってきました。今年はまだ実が色づいていないものが多かったですが、上手に選んで摘んでいました。お楽しみのブルーベリーフラッパにはスイカもトッピングされていて大満足。レインボーに帰り流し素麺。麺もトマトも枝豆もゼリーも激辛柿の種も上手にすくっていただきました。梨のお土産を買った方もいて、グルメな企画は毎回人気があり、楽しんでいただいているようです。

レインボー企画

りんご狩り



10月20日、牛久にある長沼りんご園に行ってきました。係の人が赤くて下の方が黄色くなっているものを取ってくださいと話していたので、よく吟味して取っている方もいましたが、すぐ手の届くまだ青いりんごを取っている方もいました。さて味は・・・家に帰ってからのお楽しみ。阿見アウトレットで昼食をとり、帰りに通ったコストコでソフトクリームを食べました。美味しいもの三昧の企画で大満足。(佐藤)

指定就労継続支援B型事業所

南部よもぎの園

指定管理者社会福祉法人千手会

フライングディスク大会

【第26回 千葉県障害者フライングディスク大会】千葉県青葉の森スポーツプラザ・陸上競技場で今年のフライングディスク大会が行われました。

初めての競技場で、出だしこそ少し戸惑いはありました。会場の様子を見てまわり、出場の準備を済ませた後に、ウォークライを行いました。その後毎年会う友達に会い、皆と話しているうちに、会場の雰囲気にも慣れていきました。



風が少し吹いていましたが、晴れており、まずまずな天気。

次々に番号が呼ばれ競技開始です。練習通りに投げられなかった人、緊張して思うように投げられなかった人、思い描いた通りに行かず泣き出してしまったり、結果は人それぞれで良し悪しです。それでも、終わって気持ち落ち着けばノーサイド、やっぱり楽しかったと話し、笑顔で記念撮影して競技を終了しました。

今年度、南部よもぎの園の成績ですが、後日発表された成績表によると、年代別個人記録で、1位入賞1名、2位入賞2名という素晴らしい結果でした。

(吉田)



手をつなぐ

スポーツの集い

9月26日(木)、第46回手をつなぐスポーツのつどいに、利用者10名で参加して来ました。

会場に向かう車中では、一番人気のパン喰い競争についてや昼食の話題など、楽しい気持ちで充実しています。

競技種目の最初は徒競走、4名がエントリー。ピストルと同時に猛然とダッシュ！走り終えてから撮った写真は満面の笑みでした。

次は玉入れ、8名がエントリー。始まる前にどうやったらずが入るか作戦をたてます。「手にはいっぱい持って投げれば入るんじゃないかな？」そして本番では、みんな力いっぱい投げました。

最後はパン喰い競争、10名がエントリー。苦戦しながら口で取った人、勢いよく手で取っていた人、いろいろいましたが、皆そろってアンパンをゲットだぜ。

お昼は焼肉ランチにしました。美味しい焼肉に満足でしたが、お会計で少しトラブルがあったりなかったり…。お天気も良く、ケガもなく行うことができ、良い思い出になりました。

(朝比奈)





指定福祉型児童発達支援センター

佐倉市さくらんぼ園

指定管理者社会福祉法人千手会

ファミリーレクリエーション

8月3日にさくらんぼ園でファミリーレクリエーションを開催しました。夏らしく甚平を着て参加している子どもたちもいました。登園してきた子どもたちは出店を見るとキラキラとした笑顔で自分のやりたいものにと走って行く姿がとても素敵でした。反対に何から回ったらいいのか入口で悩んでいる姿もチラホラと見られました。今年もポウリング、ヨーヨー、お面作り、ペットボトルシューター、お化け屋敷の出店を行いました。ポウリングでは「10回連続ストライク！」と満足気な姿や友達とのポウリングの様子をじっと真剣な眼差しで見つめている姿が見られました。子どもがほとんど途切れることなくピンの倒れる音と子どもの喜ぶ声が聞こえていました。お面では何種類も作って着せ替えを楽しんだり、お面をつけて嬉しそうに家族で写真を撮ってもらったりしている姿が印象的でした。ヨーヨーではたくさんの色や模様の中から

どれにしようかじっくりと悩んでいる姿、一発で釣り上げて喜んでる姿が見られました。ペットボトルシューターでは風に驚いたり、怖がりしている子どもがいましたが、保護者と一緒に挑戦してみたり、1人でボールを入れたりとお祭りの時期にしか見ることの出来ない大きな装置を見上げて興味深そうにしていました。

毎年本格的なお化け屋敷の今年のテーマは病院です。手術に失敗した医者が自殺をしてしまった病院の手術室に血のバツクを届けに行くという大人でも思わず怖気づくような雰囲気でした。怖くて泣いてしまいう子どもや職員に「怖かった」と何度も伝えてくれる子どももなご暑い夏にヒヤッとするような体験ができたのではないかと思います。

今年も家族と一緒にワクワクした表情で出店での遊びを楽しむことができました。

(岡)



地域密着型特別養護老人ホーム

さくら福寿苑

納涼会を終えて

8月9日、第五回納涼会が行われました。今年は数名のご利用者も浴衣を着ての参加となりました。多分、久し振りに袖を通したと思われる浴衣に普段とは違う笑顔が見られました。会が始まりプロの演者によるフルート演奏が始まると、その澄んだ清々しい音色に涙するご利用者の姿もありました。その後、夏の定番のスイカ割り、盆踊り、花火と楽しめました。全員参加での演目の数々。スイカ割りの「頑張って」の声援に、なかなか割れないスイカに悪戦苦闘。それもまた思い出の一つとなり、あつという間の終盤。少しだけ暮れて来た、まだ暑さの残る苑の外で今年初めて試みる花火。火薬の臭いも花火の鮮やかな色も煙が立ち込める様子、びっくりするような大きな音もしばらく体験した事のないものばかり。記憶を辿りながらそれぞれの懐かしさと出逢えたのではないのでしょうか。スタッフも

生活を共にしながら普段はゆっくり一緒に楽しめる事が少なく、今回このように時間を共有できたことも良かったと思います。来年も一緒に楽しむ事ができますようにと願いながら終了致しました。

(中野洋)



敬老会

9月16日、敬老の日にご利用者のご家族にも参加していただき、敬老会を行いました。施設長より、今年「米寿」「傘寿」「喜寿」を迎えた5名のご利用者にお祝いの賞状と花束が贈られました。その後、ボランティアによるアコーデオンの演奏が始まります。皆様、歌が大好きです。ご家族と一緒に手拍子をしながら大きな声で歌っていらっしやいました。最後はアンコールの拍手が起こり、盛り上がるのうちに終了となりました。各ユニットへ戻り、ご家族と一緒に和菓子とお抹茶をいただきました。ご家族との楽しい会話、笑顔のあふれる時間になりました。

(松本)





スタ2019

10月5日『千手会フェスタ2019』が開催されました。一週間前までは台風が来るかもしれないという天気予報で開催できるか不安がありました。しかし、当日は晴天！真夏の暑さになるほどでした。無事にお天気にも恵まれ待ちに待ったフェスタが始まります。オープニングでは『井野中学校吹奏楽部』による素敵な演奏から始まります。出店ではゲーム店舗や近隣事業所の方々のフリーマーケットなどの出店がありました。ゲーム店舗では、「ヨーヨーやりたい！」や「沢山岳積めた！」等の楽しそうな声が飛び交い、景品のお菓子を貰い嬉しそうな笑顔を沢山見ることができました。お昼には模擬店がオープンします。沢山遊んでお腹もぺこぺこ。何を食べよ





うか迷いながらチケットを片手に列に並びます。模擬店オープンと同時に大行列ができていました。ラーメンや唐揚げ等をいっぱい食べてお腹一杯で満足した後は、イベントが始まります！『八幡台ロックソーラングループ』によるロックソーランと一緒に踊ったり、『大江戸助六流佐倉勇翔太鼓』の演奏を聞いた後に太鼓を叩く体験を行ったりと貴重な経験をしました。

最後に「すごく楽しかった」と言いながら帰って行く利用者の方を見て職員一同、嬉しくなりました。今年も無事に開催することができました皆さんのご協力のおかげです。ご協力頂いた各関係者の皆様、ご来場頂いた皆様、本当にありがとうございました。

(井口)

イベントスケジュール

11月

- 1日 ニード別外出 (バイキング)
- 10、11日 一泊旅行
- 14日 秋の幸せコンサート観覧
- 15日 ニード別外出 (ディズニーランド)
- 17日 四街道ガス灯ロードレース
- 22日 ニード別外出 (ディズニーランド)
- 23日 スマイルコンサート

12月

- 6日 ニード別外出 (ランチクルージング)
- 15日 クリスマス会
- 21日 クリスマス会
- 24日 クリスマス会
- 25日 クリスマス会

1月

- 5日 新年会
- 11日 新年会
- 12日 ゆうあいピック駅伝大会
- 13日 新年会
- 18日 新年会
- 18日 新年会
- 22日 新年会

2月

- 3日 節分
- 3日 節分会

①: さくら千手園 ②: 木の宮学園 ③: 南部よもぎの園 ④: 山桜
⑤: 佐倉市さくらんぼ園 ⑥: レインボー ⑦: さくら福寿苑

①山 ②木 ③木 ④木 ⑤木 ⑥木 ⑦木 ⑧木 ⑨木 ⑩木 ⑪木 ⑫木 ⑬木 ⑭木 ⑮木 ⑯木 ⑰木 ⑱木 ⑲木 ⑳木 ㉑木 ㉒木 ㉓木 ㉔木 ㉕木 ㉖木 ㉗木 ㉘木 ㉙木 ㉚木 ㉛木 ㉜木 ㉝木 ㉞木 ㉟木 ㊱木 ㊲木 ㊳木 ㊴木 ㊵木 ㊶木 ㊷木 ㊸木 ㊹木 ㊺木

「寄付に感謝いたします」

・南部よもぎの園家族会
*千手会フエスタにご支援・ご参加
いただきました皆様にお礼申し
上げます。

ようしくお願いします

- ①趣味 ②特技 ③出身地
- ④マイブーム ⑤好きな有名人



さくら千手園
調理員
田代 リミ

- ①神社巡り
- ②残り物を使つての料理
- ③山形県鶴岡市
- ④瞑想(ボーとする)
- ⑤榎太一アナウンサー

- ①ウオーキング
- ②洋裁
- ③栃木県
- ④ピクルスを作る
- ⑤吉野彰



山桜
生活支援員
間々田 廣子



さくら福寿苑
看護師
渡邊 千恵

- ①バイク、お酒
- ②手話
- ③福島県会津若松市
- ④バイクツーリングで美味しいお
店に行く事
- ⑤いきものがかり



さくら福寿苑
介護職員
蠣崎 邦彦

- ①魚釣り
- ②早起き
- ③青森県
- ④ダイエット
- ⑤松山千春

- ①ジムトレーニング、写真撮影、
ジャンク品軽修理、ゲーム
- ②写真撮影、画像パソコン加工
- ③千葉県
- ④レトロゲーム、筋トレ
- ⑤特になし



さくら福寿苑
介護職員
角 義治

- ①麻雀
- ②なし
- ③岩手県
- ④なし
- ⑤福沢諭吉



さくら福寿苑
調理員
三浦 忠

- ①野球観戦
- ②採血
- ③東京
- ④特になし
- ⑤嵐



さくら福寿苑
看護師
北村 奈美

※前号の職員紹介で誤りがござい
ました。お詫びして訂正いたし
ます。



さくら千手園
生活支援員
宮崎 陽子

おめでとうございます

☆ご誕生
甲田 蓮(さくら千手園)
10月14日 柘磨くん

お世話になりました

・羽根田 沙織(さくら福寿苑)
・山谷 アサ子(さくら福寿苑)

編集後記

2019年10月、台風19号が上
陸し、東海・関東甲信越・東北地
方などで記録的な大雨となり、甚
大な被害をもたらしました。私自
身も飲料や食料を買い込み、有事
の際に備えました。連日続くニュ
ースに、『備えあれば憂いなし』
という言葉が身に染みたと共に、
これからも利用者の方が安全・安
心に過ごせるように心の準備をし
ていきたいと感じました。

さて、2019年もあと少し。
2020年は東京オリンピックと
いうビッグイベントがあります。
日本人選手の活躍を期待し、ぜひ
日本を盛り上げて頂きたいです!
(黒田)